

「思考スキル」は、問題に取り組むことを通じて、みなさんに身につけてほしい力をあらわしたものです。思考スキルは、特定の問題に限らず、さまざまな場面で活用することができる大切な力です。問題につまずいたときには、思考スキルに着目してみましょう。どのような切り口で問題と向き合えばよいのか、どのように考え進めればよいのか…など、手がかりをとらえるのに役立ちます。問題に取り組むとき、活用してみましょう。

思考スキル

○情報を獲得する

- ・問題文から情報や問題の条件を正しくとらえる
- ・図やグラフなどから情報を正しくとらえる

○再現する

- ・計算を正しく行う
- ・問題の指示通りの操作を正しく行う

○調べる

- ・方針を立て、考えられる場合をもれや重複なく全て探し出す
- ・書き出すことを通じて、法則を発見する

○順序立てて筋道をとらえる

- ・変化する状況を時系列で明らかにする
- ・複雑な状況を要素ごとに順序立てて整理する
- ・前問が後に続く問いの手がかりとなっていることを見ぬく

○特徴的な部分に注目する

- ・等しい部分に注目する
- ・変化しないものに注目する
- ・際立った部分（計算式の数、素数、約数、平方数、…など）に注目する
- ・和、差や倍数関係に注目する
- ・対称性に注目する
- ・規則や周期に注目する

○一般化する

- ・具体的な事例から、他の状況にもあてはまるような式を導き出す
- ・具体的な事例から、規則やきまりをとらえて活用する

○視点を変える

- ・図形を別の視点で見る
- ・立体を平面的にとらえる
- ・多角的な視点で対象をとらえる

○特定の状況を仮定する

- ・「極端な場合を想定して考える（もし全て○なら、もし○○がなければ、…など）」
- ・不足を補ったり、余分を切りはなしたりして全体をとらえる
- ・複数のものが移動するとき、特定のもののだけを移動させて状況をとらえる
- ・具体的な数をあてはめて考える
- ・解答の範囲や大きさの見当をつける

思考スキル

○知識^{ちしき}

- ・ 情報を手がかりとして、持っている知識^{ちしき}を想起する
- ・ 想起した知識を正しく運用する

○理由^{りゆう}

- ・ 筆者の意見や判断の根拠^{こんきよ}を示す
- ・ ある出来事の原因^{げんいん}、結果^{けっか}となることを示す
- ・ 現象^{げんしょう}の背後^{はいご}にあることを明らかにする

○置き換え^か

- ・ 問いを別^{べつ}の形で言い表す
- ・ 問題^{じょうきよう}の状況を図表などに表す
- ・ 未知^{みち}のものを自分が知っている形で表す
- ・ 具体的な数と比^ひを自由に行き来する

○比較^{ひかく}

- ・ 多角的な視点^{してん}で複数のことがらを比べる^{くら}
- ・ 複数のことがらの共通点^{きょうつうてん}を見つけ出す
- ・ 複数のことがらの差異^{さいい}を明確^{めいかく}にする

○分類^{ぶんるい}

- ・ 個々の要素によって、特定のまとまりに分ける
- ・ 共通点^{きょうつうてん}、相違点^{そういてん}に着目して、情報を切り分けていく

○具体・抽象^{ちゅうしやう}

- ・ 文章から筆者の挙げる例^{れい}、特定の状況^{しんじょう}や心情を取り出す
- ・ ある特徴^{とくちよう}を持つものを示す^{しめ}
- ・ 個々の事例から具体的な要素^{ようそ}を除いて形式化する
- ・ 個々の事例から共通する要素を取り出してまとめる

○関係づけ

- ・ 情報どうしを結び付ける^{むす}
- ・ 要素間の意味^{いみ}を捉え^{とら}、情報^{おぎな}を補う
- ・ 部分と全体のそれぞれが互^{たが}いに与えあう影響^{えいきやう}に目を向ける
- ・ ある目的^{しゆだん}のための手段^{しゆだん}となることを見つけ出す

○推論^{すいろん}

- ・ 情報をもとに、論理的な帰結^{ろんりてき}を導き出す^{きけつ}
- ・ 情報をもとに、未来^{みらい}・過去^{かこ}のことを予測^{よそく}する
- ・ 情報を活用して、さらに別の情報を引き出す

小学4年 基礎力テスト（国・算）—— 解答と解説

算 数（国語と算数あわせて40分）

1

(1)	789	(2)	444	(3)	276
21		22		23	

(4)	9	(5)	8.9	(6)	2.1	(7)	$\frac{6}{7}$
24		25		26		27	

2

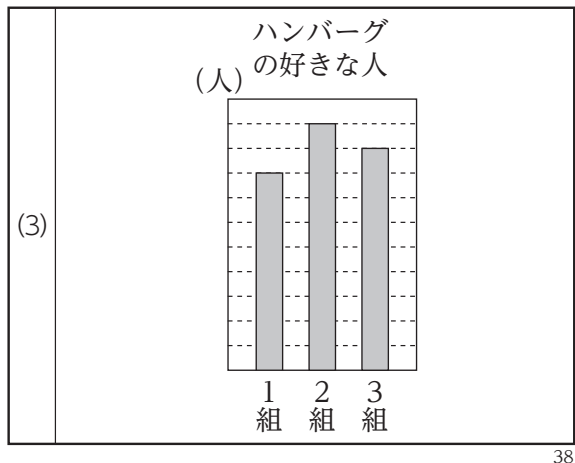
(1)	8	はこ	(2)	55	分間	(3)	2	倍	(4)	26	cm
28			29			30			31		

(5)	①	正三角形	②	54	cm
32			33		

(6)	①	(コンビニ 病院) を通った方が (100 m) 遠い	②	2 km 250 m
(完答) 34				(完答) 35

3

(1)	25	人	(2)	27	人
36			37		



4

(1)	15	39
(2)	12	40
(3)	72	41

国語

（国語と算数あわせて四十分）

一

問一	ア	
	い	42
	イ	
	う	43
	ウ	
	い	44
問二		
	ウ	45
問三		
	エ	46
問四		
	ウ	47

問五		
C	A	
見	い	
つ	ち	
け	ば	
た	ん	
ら	目	48
D	B	
心	人	
配	間	49

問六	⑤	
	イ	52
	⑥	
	ウ	53
	⑦	
	ア	54

問七	A	
	子	
	供	
	が	
	い	
	な	
	く	55
	B	
	心	
	配	56
	C	
	母	
	親	57

問八	
ウ	58

二

①		
野球		59
②		
止血		60
③		
練習		61
④		
始		62
⑤		
電柱		63

（配点）

算数

① 各 2 点 × 7 = 14 点

② 各 2 点 × 8 = 16 点

③ (1)(2)各 3 点 × 2 = 6 点 (3) 4 点

④ (1)(2)各 3 点 × 2 = 6 点 (3) 4 点

国語

一

問五 各 1 点 × 4 = 4 点

問一、問六、問七 各 2 点 × 9 = 18 点

問二、問四 各 4 点 × 2 = 8 点

問三、問八 各 5 点 × 2 = 10 点

二 各 2 点 × 5 = 10 点

計 100 点

【解 説】

② いろいろな文章題

(1) **A1** 再現する

$$46 \div 6 = 7 \text{ 残り } 4$$

あまりの4こにもう1はこ使うので、 $7 + 1 = \underline{8}$ (はこ)

(2) **A1** 再現する

$$\text{午後6時50分} - \text{午後5時45分} = 1 \text{ 時間 } 5 \text{ 分} = 65 \text{ 分}$$

$$\text{休けいの10分をひいて、} 65 \text{ 分} - 10 \text{ 分} = \underline{55} \text{ (分間)}$$

(3) **A1** 再現する

さとこさんの持っているおはじきの数は、 $48 \div 2 = 24$ (こ)

妹の持っているおはじきの数は、 $48 \div 4 = 12$ (こ)

$$\text{よって、} 24 \div 12 = \underline{2} \text{ (倍)}$$

(4) **A1** 特徴的な部分に注目する

大きな円の直径は、中にならんでいる3つの円の直径の和になり、直径は半径の2倍なので、それぞれの円の直径は、

$$6 \times 2 = 12 \text{ (cm)} \quad 8 \times 2 = 16 \text{ (cm)} \quad 12 \times 2 = 24 \text{ (cm)}$$

大きい円の直径は、 $12 + 16 + 24 = 52$ (cm)

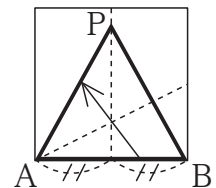
$$\text{よって、大きい円の半径は、} 52 \div 2 = \underline{26} \text{ (cm)}$$

* 大きい円の半径は、中にならんだ3つの円の半径の和になっていることがわかれば、

$$6 + 8 + 12 = 26 \text{ (cm)} \text{ と求めることができます。}$$

(5) ① **A2** 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する

右の図のように、三角形PABは、辺PAと辺PBの長さが等しく、辺APと辺ABの長さも等しいので、3つの辺が等しい正三角形です。



② **A2** 再現する 置き換え

$$\text{正三角形の1辺の長さは正方形1辺の長さになるので、} 18 \times 3 = \underline{54} \text{ (cm)}$$

(6) ① **A2** 情報を獲得する 再現する

$$\text{コンビニを通ると、} 550 + 400 = 950 \text{ (m)}$$

$$\text{病院を通ると、} 450 + 400 = 850 \text{ (m)}$$

$$950 - 850 = 100 \text{ (m)} \text{ より、} \underline{\text{コンビニを通った方が100m遠くなります。}}$$

② **A2** 順序立てて筋道をとらえる

駅を歩いて行く学校までの道のりは、病院を通るより550m遠いので、 $850+550=1400$ (m)

道のりの合計は、 $850+1400=2250$ (m) 1 km=1000mなので、2 (km) 250 (m)

③ 表とグラフ

(1) **A2** 情報を獲得する 再現する

表の中で、1組のカレーライスの好きな人は10人より、ぼうグラフのたての1目もりは1人を表しています。

ぼうグラフより、1組のスパゲッティの好きな人は7人なので、1組全員の人数は、 $10+7+8=25$ (人)

(2) **B1** 情報を獲得する 置き換え 順序立てて筋道をとらえる

右の表のように、たて、横の合計を付け加えると
計算がしやすくなります。

カレーライスの好きな人の合計は

$$10+9+8=27 \text{ (人)}$$

スパゲッティの好きな人の合計は

$$7+8+10=25 \text{ (人)}$$

ハンバーグの好きな人の合計は

$$79-27-25=\underline{27} \text{ (人)}$$

好きな給食調べ (4年生)

給食 \ 組	1組	2組	3組	合計
カレーライス	10	9	8	27
スパゲッティ	7	8	10	25
ハンバーグ	8	10		
合計	25	27		79

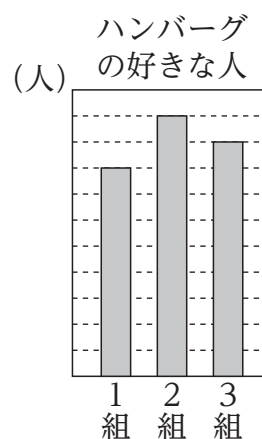
(3) **B1** 置き換え 順序立てて筋道をとらえる

3組のハンバーグの好きな人は

$$27-8-10=9 \text{ (人)}$$

表から、ハンバーグの好きな人は1組が8人、2組が10人

なので、ぼうグラフにすると、右のようになります。



4 魔方陣

- (1) A2 情報を獲得する 調べる

まん中のたての列を見ると、たて、よこ、ななめにならぶ3まいのカードの数字の合計は、
 $17 + 9 + 1 = 27$ だとわかります。

ですから、 $\text{ア} = 27 - 1 - 11 = \underline{15}$

ア	1	11
イ	9	ウ
エ	17	オ

- (2) B1 情報を獲得する 順序立てて筋道をとらえる

$\text{オ} = 27 - 15 - 9 = 3$

$\text{ウ} = 27 - 11 - 3 = 13$

$\text{エ} = 27 - 11 - 9 = 7$ または、 $27 - 17 - 3 = 7$

$\text{イ} = 27 - 9 - 13 = 5$ または、 $27 - 15 - 7 = 5$

イのうらの数字 $= 17 - 5 = \underline{12}$

- (3) B1 置き換え 順序立てて筋道をとらえる

たてにならんだ1列(3枚)の和 $= 27$

3列の和 $= 27 \times 3 = 81$ (横で考えても同じになります。)

1枚のカードの表とうらの数字の和はどれも同じで、9枚のカードの表とうらの数字をすべてたすと、

$17 \times 9 = 153$

カードのうらの数字をすべてたすと、 $153 - 81 = \underline{72}$

(うらに書かれた数字は、0, 2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16になり、すべてたして^{もと}求めることもできます。)

【解説】

□ 小川未明「赤い魚と子供」(青空文庫)から出題しました。子供は好奇心のま
まに行動しますが、母親はそれを心配します。好奇心のままに行動することは、
ときには自らを危険な状態においこんだり、だれかを傷つけたりします。魚
も人間も、親が子供を心配する気持ちに変わりはないこと、人間の子供たち
がのちに赤い魚のことをにぶい痛みとともに思い出していることに気づける
とよいですね。

問一 A2 知識

ア「いましめる」…前もって注意する。教えて用心させる。
イ「ひとしきり」…しばらくの間。
ウ「気にかかる」…心配になる。気になる。

問二 B1 理由

―線①の後で子供たちが「なぜ：食べてはなりませんのですか」とその
理由を聞いていますから、その後の母親のセリフに注目します。そこには、「昔
から：いわれています。あれを食べると、体が変わりができる」とあります。

問三 B1 理由 関係づけ

なぜ、子供たちはこんなに花に執着するのでしょうか。三段落目・四段落
目に注目です。そこには「なんのたのしみもない、この川の魚たちは：水の
面に映った花をながめてうれしがった」「水の上の世界にはあんなに美しいも
のがたくさんあるのだ」とあり、川の魚たちは、大人ですらこの川の中のた
いくつな生活にうんざりして、水の上の世界にあこがれを抱いているのです。
だからこそ、このきれいな花を少しでも近くで見たい、早く散ってほしいと
いう気持ちかわいてくるのでしょう。ア「大人の魚たちが花を食べるのを楽
しみにしている」という表現は本文中にあります。イ「人間の子供たちに
：水の中の：世界から出ることができる」とありますが、魚の子供たちは、
人間というものを意識していませんし、水の中の世界から出たいという気持
ちもありません。ウ「母親の言っていることがほんとうかどうかたしかめる」
ために花を食べたいわけではありません。

問四 A2 知識 関係づけ

③の直後に「泣いた」とあるので、しきりになみだを流して泣く様子
を表現する「さめざめ」が答えです。

問五 B1 理由

―線④の直後に母親が歎いた理由が示されています。「この三びきの子供
が、川中でいちばん目立って美しく見えたからであります：この三びきの子
供らが遊んでいる姿がよくわかったのであります」の部分です。その後、母
親は子供たちに「人間がおまえらを見つけたら：水の上へ浮いてはならない」
といましています。これらの部分から字数に合わせて答えをぬき出してい
きましょう。Dにはこの時の魚の母親の気持ちがあてはまります。大切
な子供が人間に捕まえられてしまう：そう考えた時の気持ちを漢字二字でぬ
き出しましょう。またBに「子供」と入れてしまうと、何の子供かわか
らなくなるので、ここは「人間」が正解です。

問六 B1 関係づけ

会話文の穴埋めですから、前後の会話の流れに注目して答えます。
は直前のセリフ「金魚がいるよ」を受けて言葉ですから、ここには「金魚」
が入ります。⑥は直前の「ひごいだろう」を受けての言葉です。

問七 B1 理由 関係づけ

この魚にも母親がいるというあたりまえのことに目を向けられていない人
間の子供たちは、美しい魚を捕まえたことでうきうきしていますが、子
供たちの母親は、まさきに魚の母親の気持ちをおもんばかっています。同
じ母親として、子を思う気持ちがわかるのでしょうか。―線⑧「どんなにか
：母親が、いまごろ悲しんでいるでしょう」に続くセリフでも「いまごろ、
子供がいなくなったといって心配しているでしょう」と言っています。これ
らの部分から字数にあわせてそれぞれことばをぬき出しましょう。

問八 B1 理由 推論

―線⑨の「それ」は「赤い魚のような雲」のことですから、子供たちが
赤い魚のことを思っ「なんとなく悲しく」なっていることがわかります。
―線⑨の四文前の子供たちのセリフに注目です。「あの三びき：お母さんに

あえるのだろうか」の部分です。自分たちが魚を大きな河にはなしたばかりに、母親とあえなくなったかもしれない、ということにここではじめて気づきました。それが胸にひっかかっているのでしょう。ですから、答えはウです。ア「申し訳なく：自分を責める気持ちでいっぱい」が「なんとなく悲しく」と合いません。イ「母親に会えるところを見たかった」のがかなわなかったから、悲しくなっているわけではありません。エ「大きな河は魚たちにとってはより危険な場所であった」ということより、母親にあえる可能性がほばない場所、というところがポイントですし、「運の悪さを気の毒に思う」の部分も本文の内容にあいません。

二

A1

知識

三年生までの漢字を問う問題です。②の「止血」は、日常であまりつかわない語ですが、「けがをしたので」から、熟語を想起しましょう。